

消化器内科・内視鏡科

- ・初期研修医の皆様には、まず、腹部の **common disease** に強くなっていただくような指導を目指しています。
- ・入院患者さんは 25・30 人おり、疾患は消化管、肝臓、胆道、膵臓疾患すべてにわたり、炎症性疾患から悪性腫瘍（化学療法および緩和医療まで）まなぶことができます。
- ・消化器内科・内視鏡科は、救急患者も多く、吐血・下血、腸閉塞、黄疸など緊急を要する疾患に対する対応をみにつけることができます。
- ・2か月ローテーションしていただければ、上部内視鏡のモデルを使って体験していただくことが可能です。
- ・指導は各臓器の専門医（消化管：新井教授、大浦助教、肝臓：新井教授、白戸助教、胆道・膵臓：西野教授、嶋助教）が指導します。
- ・適宜、ミニレクチャーを開催しています（急性腹症の診療、黄疸のみかた、膵炎、胆管炎の診療、IgG4 関連疾患など）
- ・適切な症例があれば、積極的に学会で報告していただいています（もちろん、懇切丁寧な指導付です！）
- ・疾患、治療の現状は診療科の HP を参照してください
皆様の参加をお待ちしています。